

大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【1】

～ 2015年度前期の実践から ～

吉田 貴富

Contents, Textbooks and Assignments of a Course of Liberal Arts Education at University 【1】

～ A case study of a course in the first semester of 2015 ～

YOSHIDA Takatomi

(Received January 6, 2016)

キーワード：大学、教養教育、美術、テキスト、宿題

はじめに

筆者は、大学における教養教育のあり方について、自己の実践を省察しながら考察してきた¹⁾。毎年、改善と試行錯誤を重ねている。本稿では、直近の実践を振り返り、授業内容とテキスト選定、及びテキストを授業本体や宿題にどのように生かしたかについてまとめ、考察する。

1. 授業の位置づけ

1-1 山口大学における共通教育

山口大学の共通教育は、2013年度実施分から全面的に改編された。2013年度から筆者が担当しているのは、系列で「一般教養」のうち「人文教養」「社会教養」「自然教養」「学際的教養」の中の「学際的教養」、その「学際的教養」の中に6つの分野があり、そのうちの「文化の継承と創造」の中の一科目である。

筆者担当分は、2012年度までは1セメスターの授業であったが、2013年度の全面改編からクォーター制が本格的に導入され、セメスターの半分であるクォーターの授業となった。

開設科目名は、2014年度までは「美術史」としてきたが、2015年度から「A r tのA」とした。2015年度、「A r tのA」は、前期後半クォーター2と後期後半クォーター4に開設された（授業者の希望ではなく、係による全学的な調整の結果）。本稿では前期後半クォーター2の実践を考察対象とする。

1-2 「A r tのA」

シラバスの「概要」に以下のように記した。

【内容】2014年度までの共通教育「美術史」をベースに、さらに緩やかにさらに幅広く造形表現を概観する。絵画作品を中心とする。必ずしも通史的な扱いはしない。

「A r tのA」とは、「アート」の「ア」、「ABC」の「A」、「あいうえお」の「あ」、即ちアートの基本の「き」という意味である。

ここには、単なる開設科目名の変更ではなく、前年度の反省が込められていた。2013年度まで1セメスター（授業14回、試験1回、計15回）で実施していた授業が、時間的に半分の1クォーターになったが、授業内容を精選・削減・圧縮しきれず、クォーター後半が詰め込みになってしまったことへの反省である。

2015年度前期クォーター2開講の「A r tのA」の受講者は、最終的に試験を受けるまで受講した者は、教育学部13名、人文学部23名、工学部16名、農学部30名、共同獣医学部3名、計85名であった。

この授業は、2014年度まで前期クォーター1に開設されておりクラス指定（学生の側からは授業指定）であったが、2015年度は前期クォーター2と後期クォーター4に開設されており、前期クォーター2以降は、学生は、複数の授業科目が割り当てられ、その中から希望する授業を選択し、希望者が定員を超える授業については抽選が行われて、割り振られる。完全なクラス指定ではないが、全面改編以前のような選択の自由度はない。

2. テキスト

筆者は、既存の書籍から選定したテキストを使用することになっている。その理由のひとつは、視覚的な情報に依るところが大きな分野であるため、Power Pointやプリントだけでなく、受講者の手元にある程度まとまった図版と文字情報がある方がよいと考えるからである。特に、近年この授業の教室として割り当てられている山口大学共通教育棟32番教室は縦に細長い教室であるため教室後方からはスクリーンへのプロジェクションが見にくい。図版をプリントにして補うことももちろん行うが、カラー図版が受講者の手元にあることが望ましい。理由のふたつめは、大学の教養教育を終えた後にも受講者の手元に美術に関するある程度まとまった書籍が1冊残ることは、一社会人の教養の一部として、また卒業後も美術との接点や美術の窓として大切なことであると考えからである。もちろん受講者の経済的負担は考慮して定価が千円前後であることを条件としている。

美術の内容論として筆者自身が執筆した書籍は無い。したがって、市販の書籍から選定することになる。

今回の選定に当たって考慮したことは、まず授業内容ありきということである。授業者がこれまで教養教育「美術史」として実践してきた内容が基本となっており、それをシラバスに記したように緩やかにしようとはしたが、あくまでも授業者が構想する授業内容に合致し利用しやすいということを大前提とした。

2015年度前期実施分のテキスト選定の基準・条件は以下のとおりである。

- a. 授業者が構想する授業内容に合致し利用しやすいこと
- b. 文庫本または新書本であること
- c. 価格が1000円以内であること
- d. 図版が豊富であり、可能な限りカラーで鮮明であること
- e. 比較的出版年が新しいこと
- f. ネット上などでの評価が高いこと

2014年度後半から選定に取りかかり、複数の候補の中から絞っていき、直前まで考えた結果、木村泰司『名画は嘘をつく』大和書房（ビジュアルだいわ文庫）、2014年11月、定価本体740円、とした。この書籍は、上記の基準・条件をすべて満たしている。選考上の次点は千足伸行『6つのキーワードで読み解く西洋絵画の謎』大和書房（ビジュアルだいわ文庫）、2015年2月、定価本体740円、であった。この書籍も上記の基準・条件を満たしており、巻頭に西洋美術史年表が載っていることは魅力であったが、内容がやや専門的であることと作品のサイズが記されていないことが今回のテキストとしては不適と判断した理由である²⁾。

3. 授業内容

以下に、実践した全7回の授業内容の概要を記す。キーワードのみとした。

【1】シラバス紹介。授業ルール等。「みる・かんがえる・はなす・きく」対話型鑑賞（1）石田徹也。

【2】「みる・かんがえる・はなす・きく」対話型鑑賞（2）①ドラローシュ《ジェイン・ 그레이の処刑》（テキスト掲載作品）、②パトリシア・ピッチニーニ《The Young Family》。論理的に考える。

【3】パトリシア・ピッチニーニ。村上隆。ジャポニスム。養老孟司「教養とは」。理系と文系。美術の学際性。香月泰男。岩井希久子。修復。YCAM（山口情報芸術センター）。磯崎新。建築。新国立競技場。ザハ・ハディド。「みる・かんがえる・はなす・きく」対話型鑑賞（3）ラスコー洞窟画³⁾。

- 【4】単位とは。古代洞窟画について考える。ラスコー。交霊（降霊）アーティスト。ポロック。システィーナ礼拝堂。若桑みどり。ミケランジェロ。ラファエロ。大塚国際美術館。『原寸美術館』。古代洞窟画以前の絵画表現。ナスカの地上絵。超常現象？ 『超常現象をなぜ信じるのか』
- 【5】アン・ブーリン（アンナ・ボレーナ）。エリザベス1世。『超常現象をなぜ信じるのか』。視覚の恒常性。話題の「ドレスの色」問題。その考え方は正しいか。
- 【6】Jim Denevan。時代様式（ロマネスク、ゴシック、ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココ）。Artistを描いた映画。『華麗なる激情』。修復。復元。玉虫厨子⁴⁾。源氏物語絵巻。尾形光琳《紅白梅図屏風》。ボッティチェリ《春》。谷川俊太郎「創造とは」。芸術作品の「内容」と「形式」。ブロンズイーノ《愛の寓意》。パリスの審判。持物・アトリビュート。『西洋美術解説事典』。イコノグラフィ・図像学。
- 【7】五味太郎。香月泰男。岡本太郎。Chim↑Pom。マニエリスム。若桑みどり。イコノロジー・図像解釈学。聖セバスティアヌスの殉教。バロック。カラヴァッジョ。フェルメール。ヴァニタス。パノフスキー。宮下規久朗。池上英洋。西岡文彦。ルーベンス。黄金比。構図。ゴヤ。近代。ダヴィッド。ヴィンケルマン。新古典主義。アングル。若桑みどり。アルカイック、クラシック、ヘレニズム。ジェリコー。ドラクロワ。ロマン主義。写実主義。クールベ。印象派。後期印象派。セザンヌ。キュビズム。チャーリー・パーカー。絵画の自律性。ゴーギャン。ゴッホ。20世紀美術へ。

4. 宿題

第1回から第6回まで毎回宿題を出した。それを資料1～6として文末に掲げる。

内容は、テキストや資料を読んで要点を把握することが主である。自分の頭でしっかり考える内容もある。予習的な内容があれば、復習的な内容もある。

昨今、「アクティヴ・ラーニング」と喧しい。要は学習者がより主体的・能動的に学習活動を行うよう授業者が工夫するだけである。日本中の意識の高い教育者は以前から実践してきたことである。筆者が共通教育の授業で行なってきた「発問」も「対話型鑑賞」も「挙手による自主発言」も「指名や機械的な順番による強制発言」も言わばアクティヴ・ラーニングである。筆者は、共通教育ではほとんど行っていないが、教育学部の専門科目の授業においてはグループ学習によるいわゆる「協同的な学習」を積極的に取り入れている。これもアクティヴ・ラーニングである。筆者は他にディスカッションやディベートも行ってきた。

「反転授業」も新しいことのように喧伝されているが、要は予習を課題としているだけである。筆者の宿題にも予習的な内容は盛り込まれている。例えば、第3回の宿題「ラスコーやアルタミラの古代洞窟画について改めて考えてみること」が予習となっており、それら個々人の考えを第4回の授業で授業者が発表させ、いわば疑似ディスカッション形式でまとめるのである。

5. 考察

今年度の授業者の目標が、内容の精選・削減・圧縮であったが、結果としては昨年度まで「美術史」の内容として取り上げてきたものをほとんど残したため、例年同様、第6回と第7回の授業内容が過多となってしまった。

テキストをできるだけ活用するという目標は達成できたと考えている。今回は、前年度までの授業者の授業内容が先にありきで、それに使えそうなテキストを選定した。著書のタイトルにもなっている「嘘」というキーワードは、受講者が興味を持って読んでくれればよい、という程度でしか捉えていないので、「嘘」にはほとんど触れなかった。このテキストは、文章量・情報量が少ないため、授業者が補った。掲載順はテーマ別であるから、通史的に並んではない。それでも、掲載されている作家や作品が使いやすかった。紙質が良く、しわや開き癖が付きにくく、印刷も鮮明で発色も良い。作品のサイズも明記されている。後掲している宿題を見ていただければ、テキストから美術や美術史に関する要点を抽出して学習者に意識させて

いることがわかるはずである。

宿題に関しては、内容、量、質ともに適切であったと思う。授業本体との関連・文脈も齟齬が無い。

おわりに

本稿執筆時、後期クォーター4の「A r tのA」が進行中である。前期の反省を踏まえて、授業内容を精選・削減・圧縮し、テキストも別のものを使用している。この実践のねらいと結果と反省については稿を改めて執筆する予定である。

註

- 1) 吉田貴富・福田隆眞「共通教育における美術教育に関する一考察 — 1995年度共通教育科目『音楽と美術の表現と教育』の実践を通して —」山口大学教育学部研究論叢第45巻第3部、1995年
吉田貴富「共通教育における美術教育に関する一考察（2） — 1996年度共通教育科目『20世紀美術と教育』の実践を通して —」山口大学教育学部研究論叢第46巻第3部、1996年
吉田貴富「抽象画理解のための授業の試み — 1996年度共通教育科目『20世紀美術と教育』における実践から —」山口大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要第8号、1997年
吉田貴富「大学における教養教育としての美術教育のあり方について（1） — インタラクティブな授業の試み —」大学美術教育学会誌第30号、1998年
吉田貴富「大学における教養教育としての美術教育の在り方について（2） — 『発問活用型』及び『対話的ギャラリートーク型』の鑑賞活動を取り入れた美術史の授業の試み—」大学美術教育学会誌第38号、2006年
吉田貴富「大学における教養教育としての美術教育の在り方について（3） — 受講者の意見が授業内容へ及ぼす広がり と 深化—」大学美術教育学会誌第39号、2007年
- 2) 千足伸行『6つのキーワードで読み解く西洋絵画の謎』大和書房（ビジュアルだいわ文庫）、2015年2月、定価本体740円、は、筆者が担当して2015年度後期の教育学部専門科目「美術科教育法IV」のテキストとして使用している。
- 3) 近年の学生の大半はラスコーやアルタミラを知らないまま入学してくる。これがいわゆる「ゆとり世代」の実態である。平成10年（1998年）版学習指導要領については、筆者も実施前から予想していた通りの大失敗・大失策であった。知識は少なくとも身に付くはずであった「興味・関心・意欲」も「各自の学び方」も「学び方の知」も身に付いていないことが、絶対的な知識量の不足と相俟って、このカリキュラムが失敗・失策であったと断ずる根拠である。本来ならば受講生に「ラスコーやアルタミラの発見以降に、さらに古い洞窟画がいくつも発見された」と講ずるつもりなのだが、ベースとなるラスコー・アルタミラが受講生の中に無いのである。
- 4) いわゆる「ゆとり世代」の大半は玉虫厨子も知らずに大学に入ってくる。彼らの頭の中の歴史や文化は一体どのようなものなのだろうか。

2015 ArtのA【1】 宿題

2015.6.10. (水)

____年生 _____学部 コース等_____ 氏名_____

★返却しません。 コピーを提出してください。

★次回【2】6月17日予定の授業開始時に提出。

課題：テキストを読んで、() 内に適語を記入せよ。テキストに書いてないこともある。

◆「はじめに」(p. 2～)

西洋美術の歴史において、彫刻から絵画の時代となっていったのが、14世紀に始まった()時代である。

14世紀とは、()年～()年のことである。

現代人の、芸術に対する考えには、制作者の()を表現することが当たり前であるというものがある。しかし、画家自身が()的な世界観を表現するようになったのは、()世紀半ば以降のことである。

西洋美術におけるタイトルひとつとってみても、まず古典的な絵画にはタイトル自体が()。

()的および()的な要素が、()的に表現されているのが西洋美術である。西洋美術を()だけで鑑賞することは非常にもったいない。

ルネサンス以降、ヨーロッパでは()ではなく()という地位が確立していく。感性ではなく()に訴えるのをよしとする伝統が確立して行った。

ヨーロッパでは、()品は、芸術品よりも格の低いものとみなされていた。一方、日本では襖や屏風といった()品を芸術品とみなし、()と()の区分も確立しなかった。

装飾的な絵画が「芸術品」としてヨーロッパでも受け入れられるようになったのは、()の台頭で日本美術に開眼した画家たちのお陰だった。

◆ p p. 20～25

レンブラントの《夜警》は通称でしかない。この時代に絵画にタイトルなどなかった。画家自身が自分の作品にタイトルをつけるようになるのは()世紀になってからのことである。レンブラントは(国名：)の画家であり、《夜警》は()年の作であり、大きさは縦()cm、横()cmである。

ドラクロワは、19世紀に続々と登場した「～主義」のひとつ()主義の画家である。それに対してレンブラントは、「主義」ではなく「時代様式」で括られる時代の画家である。レンブラントが活躍した17世紀の時代様式を()様式という。(← 調べてもよいし、p. 202に答えがあるのでそこから探してもよい)

2015年6月17日(水)

2015年度前期 共通教育『ArtのA』【2】

★ このまま右側と一緒にA3でコピーを取って提出。

_____学部 コース等_____ 氏名_____

Q：ラスコーやアルタミラなどの洞窟画に関する以下の9つの問いについて考え、調べないで、あなたの考えを、理由を添えて簡潔に述べなさい。



- ① 描いた人は、大人か、子どもか。
- ② 描いた人は、男か、女か。
- ③ 描いた人は、個人か、集団か。
- ④ 対象を見ながら描いたのか、それとも記憶によって描いたのか。
- ⑤ 描く技術に関して、訓練や教育はあったか。
- ⑥ 描いた人は、プロか、アマか。
- ⑦ 絵のある空間に、音はあったか。あったとすれば、どんな音だったのか。
- ⑧ 描いた人は言葉を話していたか。
- ⑨ 絵のある空間で、絵を描いた人とその仲間たちは何をしていたのか。

2015 ArtのA【2】宿題 ★切り離さないこと

2015.6.17.(水)

_____学部 コース等_____ 氏名_____

★左と一緒にA3コピーを提出してください。

★次回【3】6月24日予定の授業開始時に提出。

◆このテキストの掲載作品で最も古い作品はpp. 196, 197カンピン《メロードの祭壇画》であり、最も新しい作品はpp. 28, 29ピカソ《アヴィニヨンの娘たち》である。以下に基礎データをまとめ、設問に答えなさい。必要ならば調べよ。

【基礎データ】

■前者：作者名：

国名（生地・活躍地）：現在の国名

生没年： 年～ 年

題名：《メロードの祭壇画》

制作・発表年： 年頃

技法・材料：

サイズ：(中央) cm × cm

所蔵先：

■後者：作者名：

国名（生地）：

生没年： 年～ 年

題名：《アヴィニヨンの娘たち》

制作・発表年： 年

技法・材料：

サイズ：(中央) cm × cm

所蔵先：(日本語表記)

この所蔵先の英語表記：

↑ の略称・愛称・通称：

↑ 2004年～の新しい建物の設計者は()である。

【設問1】絵の具とは、「顔料（色の粉）」と「固着剤」を混ぜ合わせたものである。固着剤がアラビアゴムならば水彩絵の具。固着剤が乾性油ならば油絵の具。では、「テンペラ」の代表的な固着剤は何か。

【設問2】この2枚の絵には、いずれも人物が複数描かれている。しかし、その描き方・表現は全く異なる。この違いをあなたなりの言葉と表現で以下のスペースに説明してください。

____年生 _____学部 学科等_____ 氏名_____

なく

★返却しません。 コピーを提出してください。

★次回【4】7月1日予定の授業開始時に提出。

★このまま左右合わせてA3でコピー。

課題1：プリント「中野京子『怖い絵 泣く女篇』角川文庫、2011年、よりpp.8~15」
を読んで、()内に適語を記入せよ。

図版はテキストpp.132,133。

テキストやプリントに書いてないこともある。調べなさい。

◆ジェーン・グレイの処刑が行われたのは()年。この10年後に四大
悲劇で有名な劇作家・詩人()が生まれている。

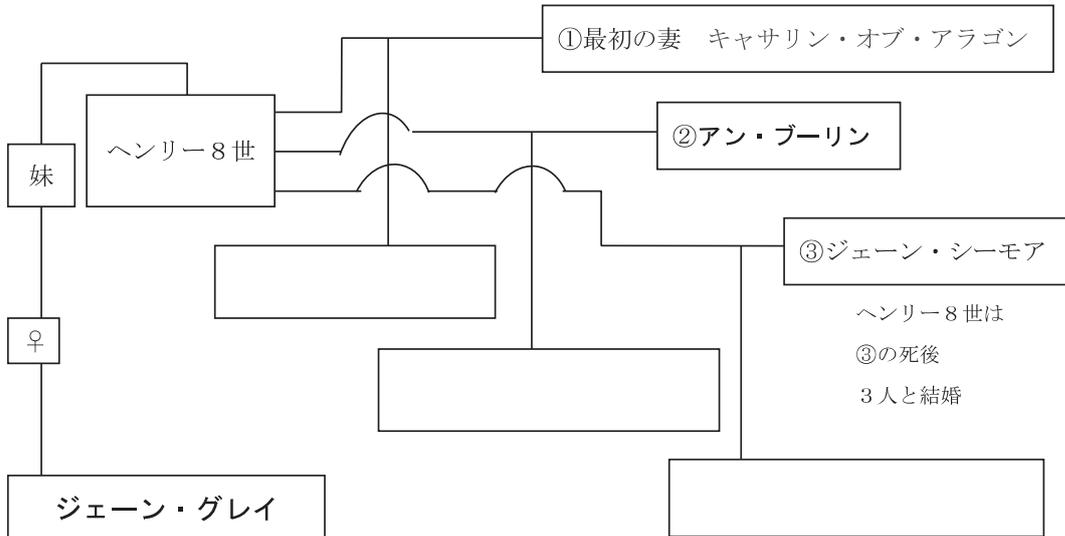
◆ドラローシュは、【1】の宿題にあったドラクロワと同じくフランス人であり、同じく()主義の画家である。

◆この作品は、イギリスに留学した()の小説『倫敦塔』のモチー
フとなっている。

◆画面向かって右の赤いホーズをはいた執行人の腰にあるものはロープと
()である。後者は首の切断に必要なだった。

◆アン・ブーリンの処刑を題材としたオペラ作品(ドニゼッティ作曲)がある。題名は、
アン・ブーリンのイタリア語読みで『()』である。

◆下の系図に名前を入れてください。



課題2：テキスト pp. 190～193 を読んで以下の文の（ ）に適語を記入しなさい。

調べなければわからないものもある。

- ◆国際的に正式な独立国家として承認されている国の中で、国土面積が最も小さい国は（ ）である。
- ◆制作した時のミケランジェロの年齢を確認しましょう。生れ月は考えず、単純に、記載されている年の引き算・足し算で結構です。
《アダムの創造》1510年を描いた時、（ ）歳、
《最後の審判》1541年を描いた時、（ ）歳である。
- ◆（ ）年、ルターはローマ教会に抗議してヴィッテンベルク市の教会に95ヶ条の論題を打ちつけた。これが、一般に（ ）改革の始まりとされる。この贖宥状批判は大きな反響を呼んだ。この批判はまたたくまに各地に拡大し、ローマ教皇に嫌悪を抱いていた周辺の諸侯の支持を得た。
- ◆プロテスタントが（ ）を禁じているのに対し、カトリックは宗教美術を重視する。
- ◆システィーナ礼拝堂の天井画も祭壇画も、技法は（ ）である。語源はイタリア語の"fresco"であり、意味は「新しい」「新鮮な」であるから、英語の（ ）
←ローマ字でもカタカナでも可
に相当する語である。
- ◆ミケランジェロの《アダムの創造》では神は右手の指先からアダムに生命を授けようとしているが、旧約聖書の『創世記』本文には、神は（ ）（アダム）で人（アダム）の形をつくり、その（ ）に命の息を吹き込んだと書いてある。
- ◆世界遺産システィーナ礼拝堂の天井画と壁画は、1999年に完了した大修復作業によって煤（すす）などが除去され、ミケランジェロが描いた当時の色彩が蘇った。テキストに掲載されている図版は、
修復の（→どちらかを○で囲む→ 前 後 ）の写真である。
この修復については、ミケランジェロが描いたものまで除去してしまったという批判もある。
- ◆《アダムの創造》を含むシスティーナ礼拝堂天井画の制作を描いたハリウッド映画がある。そのタイトルは『（ ）』である。ミケランジェロを演じたのは、『十戒』『ベン・ハー』『猿の惑星』でも主演を務めた名優（ ）である。

2015 ArtのA【4】 宿題

2015.7.1. (水)

____年生 _____学部 学科等_____ 氏名_____

なく

★返却しません。 コピーを提出してください。

★次回【5】7月8日予定の授業開始時に提出。

★このまま左右合わせてA3でコピー。

課題1：講談社ブルーバックス

菊池聡

『超常現象をなぜ信じるのか』

1998/09/20

第4章「その考え方は正しいのだろうか？」より

- ・ 片面に数字、もう片面にはローマ字の書かれているカードがあります。
- ・ そして「もし、カードの片面にローマ字の母音を書いてあれば、その裏面の数字は偶数である」というルールがあるとします。
- ・ ここにある四枚のカードでは、このルールが成立しているかどうかを確かめてみようと思います。そのためには最小限どのカードをめくってみればよいでしょうか。
- ・ カードは何枚めくってもよいのですが、できるだけ少ない枚数をめくってルールを確認してください。
- ・ あなたはどのカードをめくりますか？



(1) めくるカード

(2) 理由

課題2：テキストを読んで以下の文の（ ）に適語を記入しなさい。
調べなければわからないものもある。

- ◆テキスト掲載のルネサンス期の画家は、生年順に
ヤン・ファン・エイク（ベルギー） p. 96, p. 232
ボッティチェリ（イタリア） p. 230
レオナルド・ダ・ヴィンチ（イタリア） p. 40
デューラー（ドイツ） p. 58, p. 162, p. 164, p. 248
ミケランジェロ（イタリア） p. 190, p. 192
ラファエロ（イタリア） p. 150, p. 214
ティツィアーノ（イタリア） p. 50, p. 100
ピーテル・ブリューゲル（父）（ベルギー） p. 126, p. 236

このうち「盛期ルネサンスの三大巨匠」と言えば、

（ ）
（ ）
（ ）

の3人のことである。

この3人のうち、

最も長生きしたのは（ ）であり、
夭折の画家は（ ）である。

- ◆レオナルドの《モナ・リザ》で用いられているぼかしの技法を（ ）と言う。

- ◆英語のキューピッドは、古代ローマ（ローマ神話）では（ ）、アモル（愛）とも呼ばれる。古代ギリシャ（ギリシャ神話）では、（ ）と呼ばれた。今日の日本語「エロい」の語源である。ルネサンス期に（ ）と（ ）社会を融合させた。それで古代ギリシャ・古代ローマのような写実的な人体表現でキリスト教を描くようになったのである。

- ◆デューラーの《犀》の技法は（ ）画である。画面の右上「1515 犀」の下、p. 165 自画像の左上に同じ**モノグラム**（姓名の頭文字などを組み合わせて図案化したもの。商標や、署名の代用などにする。組み字）がある。それを↓書き写しなさい。

- ◆ボッティチェリ、レオナルド、ミケランジェロらは「フィレンツェ派」であるが、ティツィアーノは「（ ）派」である。

2015 ArtのA【5】 宿題

2015.7.8. (水)

_____学部 学科等_____ 氏名_____

★返却しません。コピーを提出してください。

★次回【6】7月15日予定の授業開始時に提出。

★このままA4でコピー。

- ◆別紙プリント「中野京子『怖い絵』より ピーテル・ブリューゲル（父）
《ベツレヘムの嬰兒虐殺》 1564年頃」を読んで、
以下の（ ）に適語を入れてください。

中景で、壺を後生大事に抱えているかに見えた女性は、死に物狂いで（ ）を守る母であった。放心したように座り込む女性の膝の上には、紐でしばった袋どころか、（ ）がいる。その後ろにころがる茶色い小包みも、実際には（ ）である。家財道具の前で祈っているように見えたのは、あおむけに倒れた（ ）を前に絶望する母の姿だ。ガチョウや犬や袋に描き変えられたものは、どれもみな槍や剣で突き殺された、いたいけな子どもたちばかりである。

身の毛もよだつのは、絵の真ん中、まさしく中心点で起こっている惨劇だ。兵士たちは家禽を集めたのではない。逃げることもままならない（ ）を寄せ集め、いっせいに槍を突き立てているのだ。（ ）はひとつもないどころではなかった。白い雪はそこそこで（ ）にまみれていた。

青空の下で展開されているのは、こんな（ ）シーンだった。青空？ ありえない・・・

- ◆ルネサンスに続く時代様式、つまりルネサンスからバロックへの移行期の時代様式を（ ）と言う。ルネサンスの調和的な美を壊した独特な色彩と形態に特徴があるため、かつてはルネサンスの凋落期と捉えられていたが、今日ではひとつの時代様式と捉えられている。語源はイタリア語のマニエラ（maniera）で、意味は（ ）である。マンネリのマンネリズムと同じ語源である。

◆バロックの語源は（ ）である。

◆ロココの語源は（ ）である。

2015 ArtのA【6】 宿題

2015.7.15. (水)

_____ 学部 学科等 _____ 氏名 _____

★次回【7】最終回7月29日予定の**授業開始時**にコピーを提出。

★このまま左右合わせて**A3**でコピー。

テキスト掲載のバロック期の画家・作品は、掲載順に（開始ページのみ）

レンブラント pp. 20, 22, 48, 152, 172, 202, 204, 222,

デ・ホーホ p. 34

ライスダール p. 72

クロード・ロラン p. 74, 200

ベラスケス pp. 94, 102, 104

デ・ミランダ p. 106

ルーベンス pp. 108, 134, 147, 160,

リゴー p. 110

アイザック・オリヴァー p. 114

アルテミジア p. 206

ムリーリョ p. 210

フェルメール p. 216, 234

ダウ p. 228

デ・ヘーム p. 242, 244

ハルス p. 251

◆ルーベンスは、その画力もすごいが、歴史上最も成功した画家のひとりであろう。

『マリー・ド・メディシスの生涯』という（ ）枚の連作を描いている。アンリ4世の妻マリーが、アンリ4世の死後に自分を神格化するために描かせた作品である。だから現実（事実）と神話を合わせたような絵になっているのである。《アンリ4世への肖像画の贈呈》においては、自分たち夫妻、つまりアンリとマリーをローマ神話の神、(①)と(②)に重ねている。

①は、ギリシャ神話では（ ）。英語では（ :ローマ字でもカタカナでもよい）である。

②は、ギリシャ神話では（ ）。英語の「6月 June」はJunoに由来している。

その絵に描かれているアモルは、(前々回の宿題にもあったとおり)英語では（ :ローマ字でもカタカナでもよい）である。

「マリー・ド・メディシス」はフランス語読みである。これをイタリア語読み
にすると（ ）である。

マリー・ド・メディシスとアンリ 4 世の長子が、アンリ 4 世が暗殺された後の
フランス王（ ）である。

ちなみに、『フランダースの犬』において聖母マリア大聖堂の中のルーベンス
の絵にネロは憧れて、ルーベンスの絵の前で息を引き取るのである。

- ◆**レンブラント** pp. 20, 22, 204 の作品には、レンブラントの絵の造形的な特
徴がよく表れている。「造形的なこと」とは、「**内容**（何が描かれているか。
モチーフ。モデル。物語。アトリビュート。など）」ではなくて、「**形式**（い
かに描かれているか。色。形。テクスチャー。構図。など）」のことである。
どのような特徴を読みとれるか、述べなさい。

【ヒント】むむむ・・・そうは言っても「光」は内容かな？・・・いずれに
せよ、「描き方。いかに描かれているか」の特徴を述べて下さい。

- ◆プリント「中野京子『怖い絵 泣く女篇』角川文庫、2011 年、より pp. 134～145」を
読んで、（ ）内に適語を記入せよ。図版はテキスト pp. 206, 207・・・？

ほとぼしる血の一部は**ユーディト**のブレスレットにも撥ねている・・・ブ
レスレット？ 『怖い絵』の図版にはあるが、テキストの図版には無い！そ
の理由は（ ）である。

「切られた首」というテーマはルネサンス期からかなり頻繁に取り上げら
れるようになり、とりわけ（ ）期に入ると、ユー
ディトの他に、ヨハネの首を処刑人に命じて切らせる（ ）、
このふたりの女性を描くことが流行し量産された。

ユーディトは（ ）外典に登場する、古代ユダヤの女傑。

サロメは（ ）聖書に登場する、ユダヤ王ヘロデの娘。

サロメの話は面白いからか、オスカー・ワイルドが戯曲にしているし、さら
にこの戯曲を作曲家（ ）
が**オペラ**にもしている。

アルテミジアのこの作品は、技法上の師であった（ ）
に倣っている。しかしアルテミジアの作品の方が圧倒的にリアルである。**カ
ラヴァッジョ**の作品も素晴らしいが、テキストには載っていない。

アルテミジアの父親の職業は（ ）である。

アルテミジアは、あの時期に活躍した女流画家として貴重である。

カラヴァッジョもアルテミジアも**映画化**されているので、機会があれば観て
みてください。